

報 幸 広 ふじかわ

4 月 号

昭和49年 4 月15日 発行

No. 161

町 の メ モ

49年 3 月 1 日 現在

人 口	15,923人
増 減	先月より +27人
男	7,875人
女	8,048人
世帯数	3,776世帯
面 積	31.09km ²

富士川町 企画課



町を緑でいっぱい まず公共施設を緑化

▽緑あふれ、うるおいのある環境緑化を推進するためには、まず公共施設の緑化から、と県緑化推進委員会は三月十九日、町内の駿河工業用水道事務所で植樹祭を開きとかくコンクリートづくりの構造物だけが目立ち、殺風景な同施設にモクセイやツツジを植樹して緑化思想の高揚を強調しました。

この日は県緑化推進委員会、同事務所、中川町長ら関係者七十人が同事務所前の庭園約五百平方メートルに県の木モクセイ、県の花ツツジなど約三百本を植樹しました。

▽町でも四十三年に町の木「マキ」町の花「フヨウ」を制定し、全世界に配布して郷土の緑化を呼びかけてきましたが、とかくかけ声だけに終りがちなため、今年の三月十四日に町や各種団体長が中心になって緑化推進委員会を設け、公共施設、町農林道、工場に計画的な緑化をするべく予算化しました。また、各戸にもブロック塀から生垣を奨励して、緑のある明るい町づくりを目指しています。

具体的な事業としては、各工場独自で計画している緑化をさらに町から「クスノキ」二百本を贈呈して促進。小中学校、幼保育園、役場庁舎周囲、水道の浄、配水場ごみ焼却場、町農林道の側面にサツキ、ツツジ、サクラ、サンゴ樹など二千本をすでに植樹しました。

明るい町づくりに8億6090万円

49年度一般会計予算

社会福祉と

公共事業の促進

町議会三月定例会は、三月九日から三月十二日までの四日間役場議場で開かれ、四十九年度町政の方針や事業の内容、あるいはこれに伴う予算、条例改正など二十件の議案が審議され、原案どおり決まりました。一般会計予算は八億六千九十万円で、前年度当初予算より一億二千三百三十万円（十六・七割）の増額になっています。

また特別会計予算では、国民健康保険会計に一億千七百万円。土地取得特別会計に二千三百一十一万円。公共企業である水道事業会計は、六千八百四十三万五千円の当初予算を計上しています。

昨年の秋以来日本経済は、石油ショックの影響で燃料や電力の供給規制と物価の異常な上昇により戦後かつてない経済危機に直面しました。そのため国では、総需要抑制を今年度の政策方針に打出しています。

このような状況の中で町は、基本方針を次の点にしぼり「明るく豊かな住みよい町づくり」を目標とする、町総合開発計画に基づいた四十九年度一般会計予算を計上しました。

教育に力を注ぎながら事業面では、農免農道、都市計画街路、下水、住宅建設など継続事業を主体に公共事業を優先し、単独事業を極力制限しました。一方、児童、

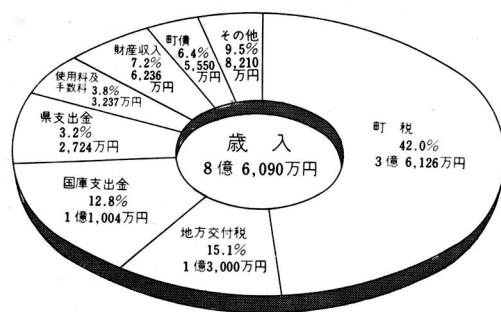
老人に対する福祉行政にも予算増が目立っています。ことしの重点政策で、おもなものは次のとおりです。

二中の改築を

▽第二中学校校舎は、一部を除き老朽危険校舎に指定されていて改築が叫ばれています。現在の学用地約一万平方メートルで、将来の生徒数の増加や体育館の建設を考えると、敷地面積が不足しています。

このため現在地、または新設地のいずれかに建設するとしても用地の獲得が必要になってきますので今年度は土地取得費を計上しています。

二〇一〇万円



▽私立さくら台幼稚園の幼児に、一人月額五百円（昨年は四百円）を補助して父兄負担の軽減をはかっています。六五万円

▽まきの木、ふよう教室など毎年開設している五つの学級の運営費に 六〇万円

農免農道の継続開設

▽基幹農道の整備をはかるため、まず、幅員六・五メートルの農免農道が昨年度から四年計画で実施され、すでに約二百メートルが完成しました。

この道路は、松千代保育園前から室野を経由して富士川サービスエリアまで新設される、延長三千

教育委員会事務局は

老人福祉センター内に

四月一日付の役場事務機構改革により、役場内三階にあった教育委員会事務局は、老人福祉センターに移転して事務を取ることになりました。

町立体育館使用願い、児童生徒の転校届など教育委員会に用事のある人は、老人福祉センターへおでかけください。

電話81-1003

一日を緑の中で

町民ハイキング

4月21日(日)

若葉繁る春の野山を駆け巡り一日を家族そろっておもしろい緑の中で楽しもう、という第五回町民ハイキングは、四月二十一日、日曜日に野田山コースで行なわれます。

当日は、第一集合地の富士川駅前を八時三十分に出発、第二集合地の新町四十九実相院前は九時三十分に出発予定です。

教育委員会では、町民多数の参加を呼びかけています。

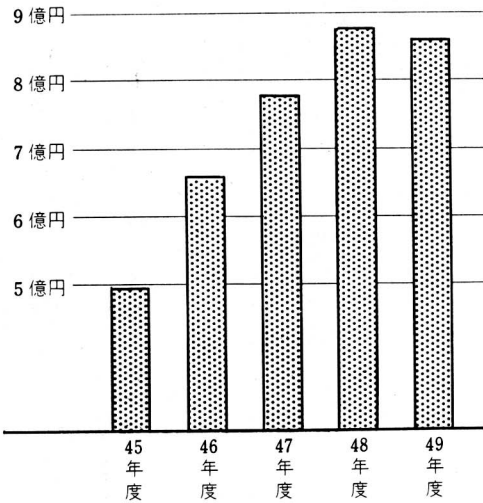
有利な

労金の住宅貸付

県労働金庫は、県内の会社、工場で働く者を対象に、五月三十一日まで住宅資金貸付の予約

町の一般会計のうごき

48年度は予算現額
49年度は当初予算額



五百坪の大規模な工事計画です。今年度は、引き続き延長八百坪を開設します。このほか桑木野線の原材料支給費など農地費に
四二一九万円

この農免農道は将来、静岡市賤機地区から清水市、由比町、蒲原町を経由して建設される大規模農道となつていきます。
四十五年度から開設している吉津金丸線の新設工事幅員三・六坪延長五百坪。このほか、粒良野線の原材料支給費など林業振興に
六六九万円

ねたきり老人の救済

▽老人医療、ねたきり老人の介護精薄身障者の救済。とくに今年度から老人家庭奉仕員（ホームヘルパー）を一人増員して、二人で寝たきり老人介護に力を注ぎます。
四三七七万円

▽三人以上の子どもを養育している父母に、一人につき月額三千円を児童手当として扶助しています
一三四六万円

▽第一小学校うら山を造成して、緑のある町民のいこいの場に計画しています。町では、この公園化を進めるため、県に指定申請していますので認可を受け次第工事にかかります。
二九〇万円

▽昨年は、第一幼稚園うら側を土留め工事しました。
四八二万円

▽町民、とくに児童と老人を交通事故から守るための交通安全対策費
四八二万円

富士川由比線の改良

▽昨年引続いて南松野の幹線道路である富士川由比線の改良。小池幸町線改良工事を行ないます。
一九二三万円

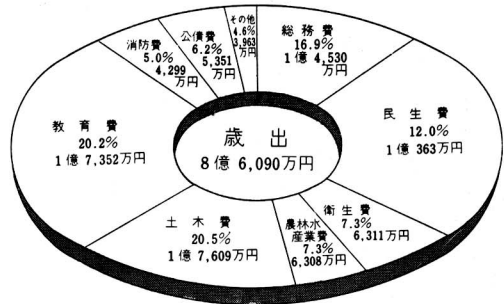
▽南松野平清水の稲荷橋は、血流川の流量問題。および橋の幅が狭いので幅員七坪、延長二十二坪の大形橋に架替えます一五二八万円
▽幸町東庵市場うらの通学路の整備。原方池野線などの原材料支給費に
八三七七万円

都市下水路が完成

▽四十五年度から五カ年計画で行なわれていた都市下水路は、総工事費一億千六百万円をかけて、日の出町地先衛生プラント横の富士川から富士川製紙(株)前を経由して国道一号线までの間、約千六百坪が今年度で完成します。

これで、多年の念願であった中之郷下通り、東町地域の雨水、家庭の排水、および工場排水がスムーズに処理されることになりました。また、し尿および汚水の処理を目的とする公共下水道は、五十年から調査を行なっています。その他、旭町の下水路、川坂堺町の水路も一部改修します。
五八九四万円

▽都市計画画街路岩淵小池下線の使用取得。樹形富士川線の改良工事
三二二万円



費を計上しています。
二四六三万円

▽今年も大築窪に公営住宅十戸を建設します。これで同団地は六十戸になります。
二八〇〇万円

公害対策に四三一万円

▽町民の貴重な財産を火災から守る消防費に
四三〇〇万円

▽水質、みかん葉の分析委託料など公害対策費に
四三二万円

▽胃ガン、子宮ガンの集団検診。乳幼児長期疾患医療費扶助など予防費に
三四一万円

▽共立蒲原総合病院の負担金
九九五万円

▽今年行なわれる参議院議員、県知事選挙、および明るく正しい選挙推進費に
三二二万円

を受付けています。

これは、県の利子補給制度の適用により、百万円以内の借用に対し年三・六五割の割合で八年間利子の補給をする、住宅金融公庫に次ぐ低利の貸付です。また、住宅金融公庫と合せて借用することができます。申込みされる人は、早めに労働金庫富士支店にご相談ください
電話富士61-0808

商業統計調査にご協力を

通商産業省では、五月一日現在で全国約二百五十万の卸売、小売店および飲食店をふくめていわゆる商業統計調査を実施します。

この商業統計調査は、商店の国勢調査ともいべき調査で、わが国商業の販売活動の実態や商品の全国的な流通状態を明らかにすることを目的としたものです。調査の結果は、行政上の基礎資料、または商店経営の指標として広く利用されています。四月二十日ごろから、商業調査員が調査票を配布しますので五月一日現在で必要事項を記入していただきます。

提出された調査票は、統計法によって厳重に秘密が守られますので、正確な申告をお願いします。

福祉課など二課一室を増設

町職員の仕事異動

機構改革により、四月一日付で町職員の異動が次のように発令されました。

今回は老人福祉、保育園など福祉関係事務の増大に伴ない、住民課から分離して福祉課を新設。また、町財産の管理処分の事務を行なう管財室。教育委員会事務局の二課制による学校教育課、社会教育課が誕生しました。

住民課長	池谷熊夫	企画課主幹
社会教育	斉藤 操	住民課
管財室長	望月宣男	産公課
企画課主幹	林 勝	教育課
衛生課	斉藤 博	住民課
産公課	大木靖也	出納室
福祉課	清 泰二	税務課
税務課	丸山博康	衛生課主幹
総務課係長	深沢尊明	教育課係長
学校教育課	池谷勲夫	衛生課
社会教育課	小沢勝巳	教育課
出納室	山下和子	出納室主事
一般職配置がえ		
福祉課長	渡辺 勝	住民課長
学校教育	望月計夫	教育
総務課主事	小林延江	税務課

企画課主事補	望月規江	住民課
税務課主事	谷 一郎	総務課
主事補	平野孝之	水道課
住民課	鈴木克枝	企画課
福祉課	望月良広	住民課
	若月正巳	
	多芸るみ子	
産公課	神戸玉清	税務課
管財室	松下寿男	産公課
	浜村公子	二小
水道課	渡辺高秀	総務課
学校教育課主事	白井陽子	教育課
社会教育課	金山幸子	
二小主事補	松下三枝子	衛生課

▼退職職員
植松茂二(水道課) 新井きよ(本通保育園) 吉野英雄、吉野セン(用務員) 鈴木芳枝(一幼) 望月みつ子(議事局)

保母さんの異動

(新職) (氏名) (旧職)	
岩淵(主任保母)	錦織和子 松千代
(保母)	栗田正子 本通
本通(主任保母)	望月靖子 岩淵
(保母)	望月とも江松千代
(保母)	望月容子
(保母)	小林美郷 新採用
松千代(主任保母)	
久松としゑ	本通
(保母)	植松壽江
(保母)	小林ますみ 岩淵
(保母)	深沢こ子北松野
(保母)	北松野(見習保母)上野孝子松千代

三月定例議会の

おもな議決事項

◎四十八年度一般会計補正予算として六千三百二十一万円を計上。これで最終予算額は、八億七千五百八十万円になりました。

◎四十八年度の国民健康保険特別会計予算は、九千四百四十三万六千円になりました。

◎固定資産税、都市計画税の納税が毎年四、七、十二、二月に納めることになっていましたが、四、七、九、十二月に納期を繰上げました。

また、納税証明書の交付手数料五十円が七十円に改正されました。

◎昨年七月一日から戸籍手数料が一件につき七十円に改正されていますが、このほど町手数料条例もこれに並行して、四月一日から次のようなものが五十円から七十円になりました。

し尿清掃手数料

一リットル三円に

し尿清掃手数料が、四月一日から一リットル三円に値上げされました。改正前は二円でしたが、し尿の収集処理事業費の原価計算によると、四十七年度三円十三銭、四十八年度三円五十九銭となっていました。また、他市町村では四円から六円徴収している現状から、当町でも公共料金の値上げについて充分考慮しながら、四月一日から一円引上げて三円にしました。

完成まじかな

星山放水路

潤井川は、富士山大沢崩に源を發し、田子の浦港にそそぐ流路延長三十キロの河川です。

星山放水路は、この潤井川本川の流量を洪水時に、富士宮市黒田から星山を経て富士川に放流し、下流部の安全を計るうとするもので、富士宮市、富士市の長年の悲願でした。

延長二千七百メートル、総事業費二十四億円で、昭和四十一年から用地買収を始めて、四十九年度当初に完成を目指しています。

放流時の富士川への影響は、富士川の計画最大洪水量毎秒九千八百立方メートルに対し、放水路からは五百立方メートルで約二十分の一です。しかも、富士川と潤井川

では河川勾配および延長も異なり富士川は洪水到達時が三時間から六時間に対し、潤井川は三十分から一時間程度と推定され洪水が重複することはほとんど考えられませんが、放流に当たってはなお一層細心の注意をはらいたいと思います。

放流については、安全を確保するため影響範囲に警報五カ所を設置し、二十秒吹鳴、十秒休止で五回のサイレンを吹鳴し、さらに拡声器により注意を促し

幼児絵画で優秀園に

1. 2 幼とも選ばれる

幼児指導絵画

「あそび」発行
所主催の第二十
回全国幼児画コ
ンクールで、第
一、第二幼稚園
とも優秀園とし
て選ばれ、その
指導力が評価さ
れました。

このコンク
ールは、全国の幼
稚園、保育園児
が普段書いてい
る絵画を、各園

単位で十五点程度応募するシステ
ムをとって、一月三十日の審
査により、第一、第二幼稚園とも
そろって優秀園に選ばれたので
す。
県下では、十園が優秀園に選ば
れました。
第一幼稚園はすでに第三回、四

通信員だより

北松野にスポーツクラブとい
う団体が二つある。その中の儘
下スポーツクラブについて紹介
しよう。

目的は「新しい家が増え都市
化が進む社会の中で、隣近所が
みんな顔見知りの人達ばかりの
親せきのような関係であった一
昔前の親密感、連帯感を養う」

つい先頃は、子ども会共催で
日本ランドにてスケート大会を
開き、レジャー、スポーツに幅

と発足した団体のようです。

年齢も十代から四十代にと幅
広く広がり、クラブで全員ユニ
ホームを買い揃え、町の主催す
るスポーツ行事には率先して参
加している。また、子どもの親
として子ども達全員を集め、親
子共同でパーベキュー大会を試
みて、大成功を治めたのは昨年
のことでした。

広くクラブを活用している。ま
た昨年町がゴミ処理に苦悩して
いるとき、燃えないゴミをクラ
ブで集め、北松野一円をきれい
にしてください、奉仕活動にも
力を入れていた。

人と人が遠ざかって孤立し
てゆく社会の中で、昔と変らぬ
人の触れ合いの場を持ち、話し
合いの場のある良い団体と思
う。

(北松野 杉山好明通信員)

回。第二幼稚園では、第十三回、
十四回に選ばれていて、全国にそ
の名を示しています。

作品は「いもほり・サンタクロ
ース・運動会」など色々なものが
出品されてきました。
なお、入賞した幼児は次のとお
りです。

たゆまぬ善行を

朝の集
いの会 が表彰される

愛隣・積善一和の住みよい明る



【金賞】朝比奈美幸(二幼)
【銀賞】太田由貴子・西大路華子
若月克司(二幼)和泉俊尚(二幼)

い社会づくり、を目的とした第六
回静岡県積善大会は、二月十六日
静岡市の県婦人会館で開かれ、席
上、当町の朝の集いの会(代表増
井兼吉さん)が善行を表彰されま
した。

宇多利神社の氏子増井兼吉さん
浦田善太郎さん、佐野牧夫さん、
平尾一成さんの四人で形成してい
る朝の集いの会は、毎朝五時、同
神社に集合して、参拝後健康体操
を十分間。それが終ると約一時間
神社周辺の清掃。樹木の手入れ、
下刈りや除草を行ない、老人とし
て社会奉仕の先頭に立っての垂範
は、氏子の尊敬の的であり、深く
感謝されています。この善行が、
こん度の大会で表彰されたもので
す。

善意銀行寄託

この放水路は、県工事として
例の少ない大規模工事です。富
士山も遠眺され、完成も間近か
ですから是非ご見学ください。
(富士土木事務所)

(48・11月・1月)
一円玉千三百五十円
相寿会 相生町

九百十五円 東寿会 東町
三百五十円 浦田貴代四十九
二百四十円 谷津倉悦子室野

百円 鮎川伸代 東町二
三万円 横山悦蔵 東町二
一万円 宇佐美一郎大北町

五千元 堺町婦人会
望月郁男 相生町
桐谷定雄 本通一

四千四百円 渡辺敏定 旭町
雑布二百枚 常楽会 新町

百三十枚 幸和会 幸町

心配ごとは気がるに 総合相談所を ご利用ください

- ・ 4月19日(金)
- ・ 9時30分～3時
- ・ 老人福祉センター

戸籍の窓

49・2・20～3・19 (敬称略)

おめでた

区名 出生児 保護者続柄
 上町 望月 純代 英治 長女
 〃 望月 亮治 忠 二男
 坂下 沢村 剛 勝 〃
 旭町 望月 瑞大 俊治 長男
 堺町 前林 奈穂 俊雄 二女
 川坂 望月 純子 孝夫 長女
 新町 佐野 繁 俊光 三男
 四十九 森中 良行 俊雄 二男
 宮町 赤池 真治 香 〃
 〃 藤江 博之 奈夫之長男

宮町 佐野 秀夫 茂夫 二男
 小池 浦田 和哉 善弘 〃
 幸町 浅野 潔美 秀夫 長女
 〃 望月 隆充 正義 長男
 東町一 高橋 昭 義昭 二男
 本通三 中川 恭子 勝 二女
 南町 影島 ルナ 日出海長女
 〃 錦織 大輔 満 長男
 〃 田島 千誉 操 長女
 〃 富士見町清水 俊英 俊信 長男
 八幡町 広岡 敏子 勝弘 長女
 〃 稲葉 圭美 照雄 〃
 〃 清水町 田中 雅治 千年 長男
 〃 田中 靖浩 千年 二男
 〃 田中 靖浩 千年 二男
 大北町 沼田いずみ 隆 長女

小山 植松 博司 恵美子 佐伯
 幸町 石本 俊秀 安子 清水
 〃 飯田 義明 照子 鈴木
 〃 宮崎 篤 たつ子 佐藤
 東町一 宮崎 篤 たつ子 佐藤
 東町二 鈴木 義則 圭子 中野
 本通四 小永井美紀 恵子 小永井
 南町 和泉 欽也 三保子 春日
 八幡町 佐野 政治 すみ代 佐野
 〃 朝比奈芳巳 光代 七條
 〃 かぎあな 望月 勲 恵子 都田

おしあわせに

区名 氏名 転出先
 木島 佐藤 鷲男 五七
 相生町 太田 きん 八三
 宮町 星崎 秀治 七八
 東町一 早川 隆 四三
 東町二 出雲順太郎 七二
 儘下町 朝比奈ヌマ 九二

かなしみ

宮町 高塚 益美 富士市
 幸町 中村 泰子 三島市
 〃 岩崎 朱美 富士市
 〃 清水みち子 蒲原町
 南町 天野 鈴子 富士市
 〃 大北町 蓮池まり子 沼津市
 〃 かぎあな 平野喜代江 蒲原町
 宮町 古川 淑子
 天野 寛暹
 三月詠草
 乳房とりし友を見舞へば白き床に
 強き目をして「生くる」と告げぬ
 本通 斉藤とし子
 ひとときを賑わう寺の鶯ばり廊下
 通りて福だるま買う
 本通 長橋 安子
 三日みて明日は帰らむ別院に念入
 りに作る老師の夕餉
 旭町 飯野よし子
 御主前の意味も知りつつ夜毎見る
 ドラマの夫婦故里を恋ふ
 本通 高橋 勝治
 二年経たば金婚式と語りぬし妻は
 病に逝きてしまへり
 坂下 植松 秀子
 視力日に弱まるを嘆き出勤せし夫
 の職場をこめて雨ふる
 本通 望月 録
 めぐりみし水車のほとりいろいろど
 し菜畑の里今はまぼろし
 四十九 入月 弘子
 将棋盤に向いて一人さす夫の盆糞
 には白髪ひかれり
 四十九 辻 すみじ
 雪斎師に学びし人は將軍となりて
 天下を治めたりなき
 四十九 塩川 恒子
 春さりて軒の老梅咲き盛る狩野川
 台風すぎて十五年

名残り惜しい

まきの木 ふよう 合同閉講式

教育委員会は、まきの木教室、
 ふよう教室の合同閉講式を三月五
 日、老人福祉センターで開き、百
 十四人の学級生に修了証書を手渡
 しました。

閉講式は百十四人の学級生が出
 席。中川町長らの来賓から祝辞が
 のべられたあと、原田教育長から
 まきの木教室学級生七十六人、ふ

ブ代表者が発表。また、舞台
 では舞踊、詩吟、茶道を披ろ
 うして無事修了を祝いまし
 た。

同委員会は、このクラブ制
 を新年度も生かして、まきの
 木、ふようの両教室の生徒を
 四月から募集しています。

まきの木教室のある老人は
 「学習はもちろん、同年ばい
 の人たちと語ることが何より
 も楽しみで、食事も忘れて出
 席することたびたびあった
 月一回ではものたりない」な
 どと話していました。



修了証書を受ける学級生